

大学を選ぶということ！

3年生は就職希望者・進学希望者共に6月19日が「進学志望校調査」「就職希望調査」それぞれの志望校や企業名を記載した調査用紙の締め切りでした。集計する中で進学希望先の正式な学校名、学部名、学科名が書けない生徒がいました。今後出願等自分でしっかりできるのかとても心配です。

また志望校についても「大学と名が付けばどこも一緒！」「入れる大学に進学する！」と考えている人はいませんか？今、大学で問題となっていることは、退学者の増加と学力不足！受験勉強をしないで大学に入学する生徒たち=学力不足、楽しんで入学=退学者の増加、明確な目標を持って進学すれば問題ないが、入れる大学へと考えた生徒=学ぶ目標が不明確であることは現実です。「大学に入学して何を学びたいのか？」志望理由をしっかりと考えて下さい。自分が学びたい内容が充実した、自分に合った大学を選んで入学して欲しいと思います。生涯の学歴にもなる大学です。ただ入りやすいから、近いからだけで選ばないようにして下さい。

多くの大学・短大では夏休みにオープン・キャンパスが実施されます。大学の雰囲気を知る良い機会です。日程は各大学のホームページなどに掲載されているので、よく調べて大学に行き実際の学生からも話を聞くと良いでしょう。

進学新着情報！

千葉商科大から指定校推薦の依頼が来ましたが、今年度の入試で志願者が増加したこともあり、評定基準が上がると同時に指定校推薦の枠が7名から商経学部での2名減の計5名となりました。また、受験機会も減ったので千葉商科大学を希望する生徒は、AO入試であれば1回目の9月にできるだけ受験した方が良いでしょう。また、志望動機を明確にして臨まないと不合格になる可能性が高くなります。注意して下さい。2019年度入試用の指定校一覧は終業式の日(7/20)に教室掲示となります。参考して下さい。

3年生就職・公務員説明会！

5月29日(火)3年生就職希望者への説明会を実施しました。合計70名余の就職希望の生徒が集合しました。7月2日からはいよいよ求人票の受け付けが開始されます。就職活動の開始です。3年生の就職希望の皆さんは内定100%を目指して頑張りましょう。7月に入るとすぐに期末試験があり、終了後は就職活動が本格的に始まります。大変ですが、がんばって下さい。求人票の公開は7月10日(火)期末考査最終日、放課後からとなります。

3年生「志望理由書」書き方講座！

6月4日(月)高島慎一先生先生を迎えて「志望理由書」書き方講座を実施しました。「志望理由書」は多くの生徒にとって書かなければいけないものです。また、面接の際にも準備しなければいけない書類です。このような書類を作成するときのポイントの一つは「**具体的な内容を書く！**」ということです。具体性に欠けると相手にその熱意は全く伝わりません。もう一つは「**入学・入社後の抱負を中心に作成する！**」ことです。理由のみにこだわって書くと結果的に皆同じ内容になってしまいます。自分ならではの内容を書くべきです。その2点を頭に入れておいて欲しいです。今回の内容や配布されたプリントを参考にして今後準備を進めてください。

3年生面接指導講座Ⅱ！

6月19日(月)5・6限に大学・短大、専門学校、就職と別れてグループ面接を中心とする面接指導講座Ⅱを実施しました。事前に配られた「面接対策用プリント」をしっかりと完成させていた生徒は少なかったようですが、何とか当日はがんばって答えられていたようです。講師の先生方からも生徒たちが真面目に取り組む姿勢については、高い評価をいただきました。しかし、内容面ではまだまだ中身が薄いと言われました。まずは「面接対策用プ

ント」をしっかり仕上げて行くことです。面接は練習すればするほど必ず上手になります。就職希望者は夏休みに徹底的に面接を練習します。覚悟して下さい！進学希望者も面接練習が必要な生徒は、早めに担任もしくは進路室に申し出るようにして下さい。

【生徒のレポートより】

- 指定校であろうと準備を怠らないようにする。
- 丸暗記はよくない。まとめることは大切だが、そのまま読み上げると言うことのないようにした方がよい。
- 緊張していることはマイナスではない。
- 結論を先に言う。そこからどんどん内容を肉付けしていく。
- 表情と声はとても大切。笑顔でハキハキ。
- 面接時の緊張しすぎと自己PRの内容が少ないので、自分のことをもっと知る必要があると感じた。
- 1つの質問の答えに対して、プラスで聞かれることもあるので、ある程度想定して準備をする。面接練習をたくさんする。

学力総合マーク模試(進研模試)！

6月、大学受験用の進研模試を実施しました。今年は12名の3年生が受験しました。大学を目指す生徒が、1度も模試を受けたことがないということは本当はあってはならないことだと思います。1か月後には全国偏差値や志望校判定の結果が出てくると思いますが、結果だけで一喜一憂せず、全国の受験生の中での自分の実力をしっかりと認識して、今後の勉強に活かして欲しいと思います。

小論文模試！

6月22日(金)に小論文模試が行われました。今年は12名の3年生が受験しました。小論文対策として事前講習会も実施されました。小論文が必要な生徒は早めに準備していく必要があります。

求人票の受付開始！

7月2日(月)より求人票の受付が始まります。多くの会社の方が来校されます。その時出会った生徒の印象が学校の評価となってしまいます。必ず元気よく挨拶をして、だらしない服装で、また廊下でスマホをいじっていたり、大声を出して騒いでいたりなど決してないようにして下さい。

私の受験生時代(3年B組担任平井敬)

大学の附属高校に所属していた私は周りがエスカレーターのように附属大学に進学を決める中、「教育学部」がある大学に進学したいと思い、他大学受験の勉強に励んでいました。「教員＝公務員だから安定した生活を送れるのでは？」という安直な考えから生まれた発想です。毎日の厳しい部活指導に嫌気が差し、普段の授業が部活のことを忘れられる唯一の時間だったため、脳の中を入れ替えようと必死に勉強をしました。

20時に終わる部活の後、自転車をこいで近くの塾へ駆け込み、無理を言って毎日23時まで勉強をする。家に帰ると眠気に勝てず何回晩御飯に顔をダイブさせたことか…。

部活を引退した夏、すべてから解き放たれた私は今まで生活の基準となっていた部活がぼっかり無くなり何の目的で勉強しているかが分からなくなっていました。一日中、参考書は開いているが文字の羅列を目で追っているだけ。中身のない形だけの受験勉強をしたところで結局第一志望の大学は不合格、滑り止めの大学も気が乗らないため浪人することを決めました。

浪人生の私は教員になりたい友達をつくり、理想の教員像なんかを「ああでもない、こうでもない」と勉強の合間を縫って話していました。結局第一志望の大学は二度落ち、第二志望の私立大学に落ち着きましたが、浪人時代はとても有意義な時間で、今でも私の教員としての振る舞いのベースになっています。人はどんな環境でも踏ん張れる力はあると思います。飛び込んでみると案外居心地がいいかも？

今回は3C担任井澤先生の巻